

【全体概要】

富山県では主穀作経営の複合化品目として花き栽培を推進している。しかし、生産者の高齢化や労働力不足、手作業中心で労働強度の高い作業が課題となっており、機械化や省力化による生産技術の確立が求められている。また、小ギクは、物日(お盆)需要が多く、契約的取引による有利販売を進めているが、その安定供給に向けた開花調節技術の確立や病虫害対策等の防除技術を組み合わせた総合的な省力化栽培体系の確立が課題となっている。

このため、省力・低コスト機械化体系の開発、電照栽培による開花調節技術、微小害虫の省力防除体系を確立し経営体や産地への導入を目指す。

新品種・新技術等の概要

移植機、耕種的防除、電照栽培による開花調節等省力栽培体系の確立

- ①露地ギクの省力・低コスト機械化体系の開発
- ②露地ギクの電照栽培による開花調節技術
- ③微小害虫の発生活長と生活環に対応した防除と耕種的防除を組み入れた省力防除体系の確立



半自動移植機

主な取組内容

【検討会】

- ・実証ほの設計・現地・成績検討会の開催
- ・意見交換会の開催

【技術の現地検証】

- ・省力機械化実証確認
(施肥・うね立て機、半自動移植機、支柱打ち機、下葉落とし機、防除機等)
- ・電照栽培による開花調節効果の確認
- ・微小害虫の発生活長と省力防除体系の確認



電照栽培

【品種・技術と産地・実需者とのマッチング活動】

- ・実証ほ現地検討会・成績検討会の開催による省力栽培体系の検討・課題整理
- ・契約的取引の実施、需要動向等の情報収集

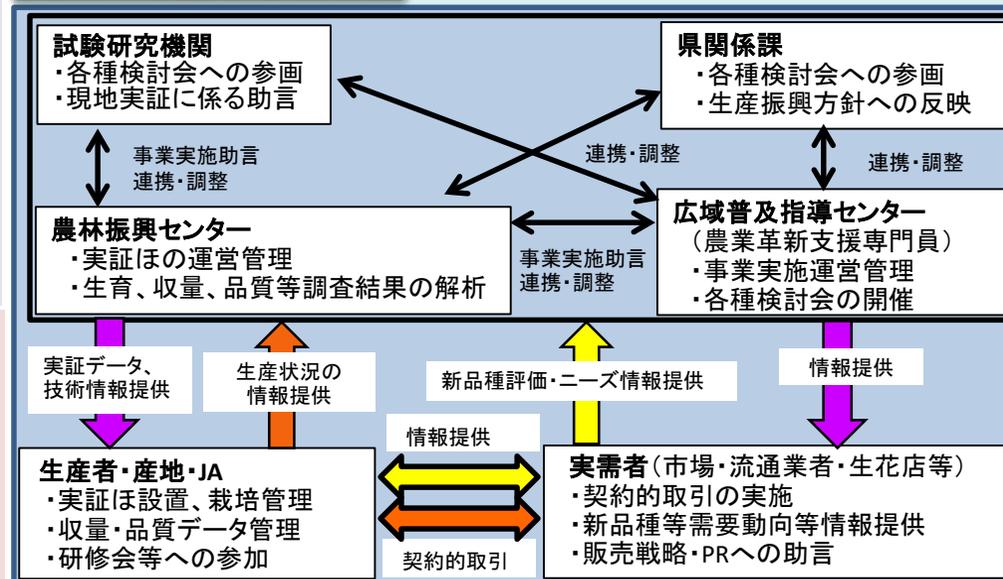
【小ギクの省力栽培普及マニュアルの作成】

- ・新技術の先進地調査、省力技術の現地実証結果の取りまとめと、産地への情報提供
- ・生産性の向上、経営改善効果の分析



浸透移行性・浸達性薬剤による省力防除

実施体制図



課題と今後の対応

- 移植機での定植は、作業効率が高かったが、移植後の苗の転びやマルチ内への潜在性が散見されたため、機械移植に適した育苗技術を検討する。
- 電照栽培での収穫期間の短縮に向け、生育を揃えるための育苗・栽培技術を確認する。
- 浸透移行性・浸達性薬剤による微小害虫の省力防除を検討する。
- 収穫調整作業の省力機械化について情報の収集を行う。